



2025年3月19日

各 位

会 社 名 株式会社パイオラックス  
代 表 者 名 代表取締役社長 山田 聡  
(コード：5988 東証プライム)  
問 合 せ 先 経営管理部長 福田 俊宏  
(TEL. 045-577-3880)

### 組織改編及び人事異動に関するお知らせ

当社は、2025年3月19日に開催された取締役会において、下記のとおり、組織改編及び人事異動を決定しましたので、お知らせいたします。

#### 記

1. 実施日：2025年4月1日予定

#### 2. 組織改編の趣旨

当社は、現中期計画において、これからの当社の成長のためには、「自動車生産台数だけに頼らない経営推進」を行う必要があると認識し、そのための組織改革として、事業部の壁を超え、迅速で柔軟な事業展開ができる体制の構築を目指しております。その実現のため、これまでの4つの商品群(注)からなるSBU(戦略的ビジネスユニット)制を廃止し、機能別の体制へ改編をすることとしました。

当社の主要な取引先である自動車産業を取り巻く環境の変化は大きくなる一方で、新たなビジネスチャンスをつかむ機会でもあります。機能別の体制を敷くことにより、戦略立案と実行、意思決定の迅速化や適正なリソース配分の実現を加速させ、企業価値の向上と持続的な成長を目指してまいります。

(注) Fluid Controls、駆動系部品、ファスナー及び開閉機構部品。

#### 3. 主要な組織改編

##### (1) 製造機能の統合

各SBUに属している製造機能を統合し、真岡工場、富士工場の2拠点に振り分け、より効率的なリソース配分を行い、生産性の向上を加速します。

##### (2) 生産技術機能の統合

各SBUに属している生産技術機能を、生産技術部に統合し、リソースと技術の共有化を進め、技術開発の効率化と更なる技術の向上を加速します。

### (3) 生産管理部の新設

生産管理部を新設し、生産企画機能を強化したうえで、これまで SBU やその他の部門に分散していたプロジェクト管理機能を統合し、製品開発から量産に到るまでのプロジェクト管理を強化します。

### (4) 新規事業創出機能の統合

新規事業創出を担う MIRAI 事業部と新商品開発を担う e 商品開発部を統合し、MIRAI 開発部と改称します。MIRAI 事業部のマーケット力と e 商品開発部の開発力を合わせることで、自動車分野のみならず非自動車分野における新規事業創出を深化・加速させていきます。また設計部はその機能を明確化するために最適開発推進部と改称します。

### (5) その他（品質保証本部の新設等）

上記の組織改編に合わせ、国内外の品質管理を統括する品質監理室を新設し、品質保証部と合わせて品質保証本部を新設します。また営業 SBU は営業部と改称します。ISO 推進室を廃止し、その機能を商品開発本部と経営管理部にそれぞれ統合いたします。

## 4. 人事異動

(2025 年 4 月 1 日付予定)

氏名	新役職名	現役職名
吉原 達朗	・ 上席執行役員 ・ 富士工場長	・ 上席執行役員 ・ 駆動系部品 SBU 長 ・ 富士工場長
平子 勝	・ 上席執行役員 ・ 真岡工場長	・ 上席執行役員 ・ ファスナー SBU 長 ・ 開閉機構部品 SBU 長
池田 邦彦	・ 執行役員 ・ 品質保証本部長 ・ 品質監理室長	・ 執行役員 ・ 品質保証部長
笹本 章良	・ 執行役員 ・ 営業部長 ・ 株式会社ケーエッチケー販売社長	・ 執行役員 ・ 営業 SBU 長 ・ 株式会社ケーエッチケー販売社長
鈴木 謙吾	・ 執行役員 ・ 生産管理部長	・ 執行役員 ・ Fluid Controls SBU 長
吉田 直樹	・ 執行役員 ・ 商品開発本部長 ・ 最適開発推進部長	・ 執行役員 ・ 商品開発本部長

鈴木 博行	・品質保証部長	・設計部長 ・設計部研究開発 GR リーダー
山田 悟志	・MIRAI 開発部長	・e 商品開発部長
菊地 俊男	・真岡工場長付	・真岡工場長 ・ファスナーSBU 副 SBU 長 ・ファスナーSBU 金属製造 GR リーダー
澤谷 誠司	・商品開発本部 LCA 推進 GR リーダー	・ISO 推進室長
柴田 晴仁	(退任)	・MIRAI 事業部長

#### 5. 業績への影響

本組織改編に伴う当連結会計年度に与える影響は軽微であります。

以 上